

# 2015 年度大阪女学院事業計画

## [2015 年度事業計画策定にあたり、学院運営の基本となる考え方]

大阪女学院は、2014 年に創立 130 周年を迎え、建学の精神に則って、長期ビジョン(2014 年度～2023 年度)の策定を行い、2023 年度までの 10 年間は、この長期ビジョンに則した歩みを進めようとしている。

2015 年度の学院運営は、建学の精神、長期ビジョンに記した「大阪女学院が育もうとする学生・生徒像」及び「運営基本方針(2014 年度～2019 年度)」を基にして、学院全体での取組みと各部門での取組みを定める。

## I. 確認事項

### 1. 大阪女学院の目指すもの

建学の精神(ミッションステートメント/2009 年 9 月 15 日制定)  
大阪女学院は 創造主を畏れ キリストの教えに従って 一人ひとりを愛し  
何が重要であるかを見抜く力を養い 喜びをもって 進んで社会に仕える人を育む

### 2. 大阪女学院が育もうとする学生・生徒像 (長期ビジョンから)

大阪女学院は、「愛と奉仕」に基づき、キリスト教教育、女子教育、英語教育、人権教育を柱として教育活動を営んできた。大阪女学院が育もうとする学生・生徒の像を明らかにする。

- \*キリスト教に基づく愛と奉仕を実践する人
- \*自由な学びの中から、物事の本質を見つめ、自己の進路を選ぶことのできる人
- \*英語力を基礎に幅広い教養と公正な判断力を身に付け、自律的・主体的に行動できる人
- \*性別の役割にとらわれずあらゆる可能性に挑戦し、女性の尊厳の確立に努め、リーダーシップを発揮する人
- \*社会の課題に関心を持ち、世界、日本、地域のために仕える人

### 3. 運営基本方針/2014 年度～2019 年度 (長期ビジョンから)

大阪女学院は、環境変化に的確に対応するとともに、130 年間にわたり守り育んできた精神を堅持し、2014 年度から 2019 年度の間に於いて、以下の方針によって、健全な運営を創出する。

- \*教職員の知恵と力を結集して、歴史と伝統に証される良き学校運営を継承する。
- \*これまで育んできた学生・生徒像、人格を育む教育力、積み上げてきた教育・研究活動の成果を広く社会にアピールし、学生・生徒の安定的な確保に力を注ぐ。
- \*本学の建学の精神を実現するために変化しなければならないことについては、強い決意をもって迅速な対応を行う。

## II. 2015 年度学院全体の取組み

### 1. 長期ビジョンで示している具体的施策(2014～2019 年度)の段階的な実行

- (1) 教育内容の充実
- (2) 学生・生徒支援
- (3) 地域との共存
- (4) 組織の人材育成
- (5) 学生・生徒募集
- (6) 財政運営方針と5か年計画
- (7) 施設整備(計画的な施設整備)

### 2. 中期計画(2016～2019 年度)の策定

長期ビジョンに則した中期計画(2016～2019 年度)を策定し、次期 4 年間の運営計画を明確にする。

### 3. 学院を取り巻く環境変化への対応

人口構造変化(中学 1 年生は 2014 年度から減少期、18 歳人口は 2020 年度から減少期)、東京オリンピックに向かう社会全体の変化、教育行政の変化、近隣地域の変化、学院内部の変化等に対応できる準備を整える。